

## 2018年

### 〈書籍〉

- 乾哲也. 被殻・視床・脳幹出血の理学療法のポイント, p179-193. 斉藤秀之, 加藤浩 編. 極める脳卒中の理学療法, 文光堂; 2018.
- 増田知子. 回復期からの提言, p175-181. 手塚純一, 甲田宗嗣, 斉藤秀之 編. 理学療法 MOOK22 急性期の脳卒中理学療法, 三輪書店; 2018.
- 吉尾雅春, 三輪千尋, 乾哲也, 森涼子, 田村哲也, 中田圭亮, 林敦史, 廣谷和香, 増田知子, 奥河千夏, 伊藤直城. 吉尾雅春 編. 症例で学ぶ 脳卒中のリハ戦略, 全項. 医学書院; 2018.

### 〈論文〉

- 上野奨太, 吉尾雅春, 尾立朋子. 低酸素脳症により発作性ミオクローヌスを呈した Lance-Adams syndrome 例の理学療法経験. 理学療法ジャーナル. 2018; 52: 171-176.
- 増田知子. Gait Solution 付き長下肢装具の知識. Medical Rehabilitation. 2018; 225: 60-66.
- 増田知子. 脳卒中者の歩行の経過. 理学療法ジャーナル. 2018; 52: 240-245.
- 乾哲也. セラピストのための肩甲骨キネマティクス. スポーツメディスン. 2018; 30: 2-7.
- 岩崎朋史. 持ち上げ型歩行器と脳卒中. 脳卒中リハビリテーション. 2018; 1: 74-92.
- Takaya S, Sawamoto N, Okada T, Okubo G, Nishida S, Togashi K, Fukuyama H, Takahashi R. Differential diagnosis of parkinsonian syndromes using dopamine transporter and perfusion SPECT. Parkinsonism Relat Disord. 2018; 47: 15-21.

### 〈学会発表〉

- 吉村直也, 吉尾雅春. 観察による歩行分析の標準化に向けた取り組み～脳画像を活用して～. 第1回日本臨床知識学会. 東京, 2018年1月.
- 辻令奈, 富松幸子, 山口亜弓, 西野薫, 松原映里, 神田直子, 太田はるみ, 橋本康子. できる!! 睡眠剤の減量・中止～きっかけはアロマセラピー～. 近畿薬剤師合同学会大会 2018. 京都, 2018年2月.
- 西野薫, 富松幸子, 山口亜弓, 松原映里, 辻令奈, 太田はるみ, 橋本康子. 地域で活かす、手帳の1ページ～薬薬連携に向けた取り組み～. 近畿薬剤師合同学会大会 2018. 京都, 2018年2月.
- 伊藤直城, 吉尾雅春. 脳卒中片麻痺患者における大脳前庭皮質と contraversive pushing 出現率との関連性の検討. 第43回リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会. 西宮, 2018年3月.
- 高屋成利, 澤本伸克, 岡田知久, 大久保豪祐, 西田誠, 富樫かおり, 福山秀直, 高橋良輔. 脳 SPECT 画像を用いたパーキンソン症候群の鑑別診断. 第59回日本神経学会学術大会. 札幌, 2018年5月.
- 今井香奈, 熊倉勇美, 名古将太郎, 久保千穂, 成田真知子. 右半球損傷により発語失行を呈した症例の訓練経過. 第19回日本言語聴覚学会. 富山, 2018年6月.
- 久保千穂, 熊倉勇美, 名古将太郎, 橋本康子, 後藤理恵子. 原職復帰を果たした反回神経麻痺の一症例. 第19回日本言語聴覚学会. 富山, 2018年6月.
- 増田知子, 吉尾雅春, 並河慎二, 上野奨太, 森本恵弥. 長下肢装具歩行トレーニングを経験した脳卒中片麻痺者の歩容に関する検討. 第55回日本リハビリテーション医学会学術集会. 福岡, 2018年6月.
- 高坂雅之, 大江田知子, 梅村敦史, 富田聡, 朴貴瑛, 山本兼司, 杉山博, 高屋成利, 澤田秀幸. パーキンソン病の側屈姿勢と垂直認知障害および関連する脳部位. 第12回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres. 京都, 2018年7月.
- 乾哲也, 佐原亘, 吉尾雅春, 菅本一臣. 健常者間における肩関節屈曲時の肩甲骨と鎖骨の動きの違いについて. 第55回日本リハビリテーション医学会学術集会. 福岡, 2018年7月.
- 脇田あやの, 岩崎祐, 名古将太郎, 熊倉勇美. 当院における飽和蒸気調理機を用いた嚥下調整食の試み (第5報: 家庭用調理器具による検討). 第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会. 仙台, 2018年9月.
- 大槻昌広, 吉尾雅春. プールへ行くことに焦点を当てた介入-退院後の楽しみのある生活へと繋がった

一例. 第 52 回日本作業療法学会. 名古屋, 2018 年 9 月.

- 名古将太郎, 熊倉勇美. 重度嚥下障害患者の一例に対する医療連携の経験. 第 24 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会. 仙台, 2018 年 9 月.
- 椿野颯汰, 吉尾雅春. 「引きこもりたくない」興味のある活動を導入することで発症前よりも活動/参加が増えた一症例. 第 26 回慢性期医療学会. 鹿児島, 2018 年 10 月.
- 相川学美, 富松幸子, 山口亜弓, 辻令奈, 松原映里, 太田はるみ, 橋本康子. お薬手帳を通じた退院時の薬物療法伝達の試み～切れ目のない薬の橋渡しへ. 第 26 回日本慢性期医療学会. 鹿児島, 2018 年 10 月.
- 上野奨太, 池田吉成, 吉尾雅春, 橋本康子. 脳血管疾患における早期の家屋評価が FIM 実績指数へ与える影響. 第 26 回日本慢性期医療学会. 鹿児島, 2018 年 10 月.
- Inui T, Sahara W, Yoshio M, Sugamoto K. The three-dimensional translations of glenohumeral joint during arm flexion using MRI. Asian Confederation for physical therapy (ACPT) Congress 2018. Cebu, November, 2018.
- 伊藤直城, 吉尾雅春. 回復期まで遷延する Contraversive pushing の出現率と重症度に関する脳損傷部位の検討. 第 16 回日本神経理学療法学会学術大会. 大阪, 2018 年 11 月.
- 後藤諭美, 廣谷和香, 吉尾雅春. 著しい足部内反の出現により歩行獲得に難渋した理学療法の経験. 第 16 回神経理学療法学会学術大会. 大阪, 2018 年 11 月.
- 上野奨太, 伊藤直城, 吉尾雅春. 重度脳卒中片麻痺患者の歩行の帰結に contraversive pushing が及ぼす影響. 第 16 回神経理学療法学術大会. 大阪, 2018 年 11 月.
- 川元芳彦, 吉尾雅春. 視床後外側部出血例における出血伸展方向が Pusher 現象予後に与える影響について. 第 16 回神経理学療法学術大会. 大阪, 2018 年 11 月.
- 林敦史, 橋本結, 田村哲也, 吉尾雅春. 脳卒中片麻痺患者における非麻痺側への上側方 Functional Reach Test の検討. 第 16 回日本神経理学療法学会学術大会. 大阪, 2018 年 11 月.
- 酒井健雄, 高屋成利, 江頭誠. 病院・施設でのストロー付き紙パック入り牛乳の提供は誤嚥のリスクを高める. 第 2 回日本リハビリテーション医学会秋期学術集会. 仙台, 2018 年 11 月.
- 上野奨太, 吉尾雅春. 下肢 Brunnstrom Recovery Stage II で歩行を獲得した脳卒中片麻痺例の特徴. 第 2 回日本リハビリテーション医学会秋季学会. 仙台, 2018 年 11 月.
- 伊藤直城, 吉尾雅春. 回復期脳卒中右半球損傷例における Contraversive pushing の重症度に関する因子の検討. 第 2 回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会. 仙台, 2018 年 11 月.
- 川元芳彦, 吉尾雅春. Pushing を呈する広範な右脳梗塞例の理学療法経験. 第 57 回近畿理学療法学術大会. 大津, 2018 年 11 月.
- 田村哲也, 樋口由美, 並河慎二, 大方実, 吉尾雅春. 脳卒中者の二重課題歩行能力と運動・認知・生活機能の関連. 第 5 回日本地域理学療法学術大会. 横浜, 2018 年 12 月.
- 岩崎真利恵, 岩崎祐, 脇田あやの, 桜井史明, 林沙紀, 合田文則, 橋本康子, 武内海歌, 鞍田三貴. 回復期リハビリテーション病院において入院低体重かつ退院に至るまで食事摂取量不良患者の特徴. 第 8 回日本リハビリテーション栄養学会学術集会. 高松, 2018 年 12 月.
- 脇田あやの, 合田文則, 岩崎祐, 橋本康子, 鞍田三貴. 他職種と連携した栄養管理が奏功した超低体重のリハ患者の一例. 第 8 回日本リハビリテーション栄養学会学術集会. 高松, 2018 年 12 月.